

地域推薦枠医学生夏季離島実習

今回の離島実習では、種子島にある種子島医療センターと田上診療所、また関連の施設である老人保健施設わらび苑や訪問看護に参加させていただきました。前回の実習では、長島での実習でしたが、今回は離島での実習であったのですごく充実した実習となりました。

まず、種子島には高速船で行き、種子島医療センターでの実習が最初でした。種子島医療センターに行き、最初に病院の紹介を受けた時、自分の予想よりもはるかに医療設備が充実しているなど感じました。離島において重要なのは、病気を事前に早期発見して、大きな病気は鹿児島市内で手術をすることだ、というような話を院長先生がおっしゃっていました。その言葉の通り、医療設備が充実していて、病気の早期発見ができるような環境が整っており、種子島の医療の砦というような印象でした。

また、私が見学させていただいたのは、皮膚科、循環器科、泌尿器科、糖尿病内科、心療内科の外来でした。見学した科の先生方は、全員朝の高速船に乗って最終便で帰る日帰りの先生たちでした。離島では、医師数が少なく診療数も少なくなってしまうものですが、種子島はこのように外から医師を呼んで診療科を増やしていたので、島の患者さんの負担を少しでも減らす努力がなされているなど思いました。診察中に感じたことは、皮膚科で強く感じたのですが、患者さんの数がすごく多いという印象でした。決まった曜日にしか来ることができないので、そこに患者さんが集中してしまうのでしょう。患者さんが多いと、やはり一人当たりにかかることのできる時間がどうしても少なくなってしまうので、救急の患者さんのことも考えると、常駐の医師がいることも重要だなど感じました。

そして、種子島医療センターのほかには、中種子町にある田上診療所で見学させていただきました。田上診療所では、外来の見学をさせていただきました。インターネットで患者さんのデータを種子島医療センターと共有しており、患者さんの症状に合わせて症状が重ければ種子島医療センターで診察を受けてもらうという風にしっかりと連携が取れていました。訪問看護では、患者さんの家に実際に診察に行かせていただきました。病院に来ることのできない方には、すごく便利なものであるし、家の状況も見ることができるので島やへき地では欠かすことができないものだと思います。

今回、種子島で実習をさせていただきましたが、去年の長島の鷹巣診療所とは違って、多くの医師が島にいて、医療に充実した離島での見学でした。この夏季離島実習で、タイプの異なる医療の形態を学習することができたのでいい経験となりました。改めて、地域により求められている医療が異なるということを感じたので、その地域に応じた医療を行えるようにしっかりと勉強していきたいです。

種子島での実習を通して

〈種子島医療センター〉

種子島医療センターは種子島の医療の中核を担う病院であり、島の医療の最後の砦となっている。ここで診療される科は20と多く、診断が難しいとされる患者はここで診断、治療が行われる。ここで見学させていただいたのは、泌尿器科、小児科、眼科、循環器内科、皮膚科だった。大学等から定期的に来られる先生は、朝一の高速船で種子島にきて夕方の最終便の時間ぎりぎりまで診察されていた。そのなかでも私が見学した科で皮膚科が特に多くの患者を抱えていて、ハイペースでまわしても追いつくのがやっとの様子だった。

〈田上診療所〉

2日目にこの診療所で実習を行った。この診療所を利用される患者のほとんどが高齢者であり、その患者の多くが糖尿病、高血圧の病を患っている。ここでは内科に加え、火、木曜日は皮膚科、水曜日は整形外科の先生にきていただき診察を行っている。診察に訪れる患者は定期的に来られる方、薬がなくなったため処方してもらいにきている方が多かった。また利用する患者は、ただ自身の症状確認、薬の処方のためにきているだけでなく、自身の身の回りに起きている出来事を話す事、談話をする事が1つの楽しみとしてきているようにも見えた。その現場を見て、こういった方の為にもこの診療所が必要なのだと感じた。そういった環境を作る為にもその地域のことを知り、地域と関わる機会を増やす事が大事だと感じた。

〈野の花〉 ～訪問看護～

最終日に訪問看護にいかれる看護師に同行させてもらった。今回実際に行なったケアは、バイタルサインチェック、酸素飽和度の測定、症状の確認、シャワー浴の介助である。私はシャワー浴の補助を手伝わせてもらったが、想像以上に体力を使った。この日は午前中に1件のみであったが、多い時は1日で8人の時もあると聞き、それを基本1人で行う看護師は相当の負担がかかると感じた。また実際に利用されている方のなかには病院から遠く、病院にくることが困難な方もいることを聞いた。

〈地域診断実習〉

種子島には種子島宇宙センターがあり、鹿児島から高速船で1時間弱で来ることが可能なくらい近いと島自体は栄えているものと思っていたが、想像より高齢者も多く栄えている町もごく一部と正直驚いた。しかし種子島特有の地形から生まれた千座の岩屋や浦田海水浴場など自然豊かで心が和む町だと感じた。